

こんぶくろ池通信

NPO 法人こんぶくろ池自然の森
Tel: 04-7132-8800
Fax: 04-7132-8806
Email: info@konbukuroike.com
URL: http://www.konbukuroike.com

2022年7月

第99号

主な予定

T-KIDS

夜の昆虫観察会

7月24日(日)

19:00~21:00

於:管理棟前

T-KIDS

昆虫標本展示

8月13日(土)~

14日(日)

於:柏の葉 T-SITE

T-KIDS

森の昆虫博士養成講座

8月14日(日)

10:00~10:40

11:30~12:10

於:柏の葉 T-SITE

「助っ人」に助けられた合同活動日

上田 真佐江

第3日曜日は当NPOの里山班と調査班が会する合同活動日。6月合同活動日の主な作業予定は、9月にワタラセツリフネが開花する草地の整備と、こんぶくろ池自然博物公園の周辺で増加しているアメリカオニアザミの駆除、なかなか骨の折れる作業です。近隣の方々に当園の保全活動を知っていただく目的も兼ねて、今回は助っ人を募集しました。

チラシのタイトルは「草地の維持&外来種駆除作業 助っ人募集! 6月19日(日) 9:00~12:00」。申し込み不要、年齢不問(小学生以下は保護者同伴)とし、チラシを当園の掲示板やHPに出すだけでなく、つくばエクスプレス柏の葉キャンパス駅周辺のマンション各棟に掲示させていただきました。掲示にご協力くださった方々にお礼申し上げます。

当日の参加者は、駅前マンションから女性1名、園内のチラシを見た柏市内の親子1組(中学3年生女子とお父様)。

アメリカオニアザミは、2016年に環境省と農林水産省から発行された「生態系被害防止外来種リスト」の掲載種で、葉や茎、総苞片に鋭い棘があり刺さっては危険。棘が貫通しないように厚手の手袋をNPOで準備しました。繁殖力が強く、公園周辺では増加傾向で、稀に園内の園路沿いで見かけることもあります。多年草なので、駆除の際にはできるだけ根こそぎにしたいところ。成長したアメリカオニアザミの根は太く地中深くに張っており、シャベルを使っても力を要する作業です。種子から育ったまだ小さなアメリカオニアザミにもしっかりと鋭い棘がありました。アメリカオニアザミの群生地付近で



アメリカオニアザミを根から掘りだす作業



種子から育ったアメリカオニアザミすでに鋭い棘を持っています



アワフキムシの幼虫

は、ナガミヒナゲシや、「生態系被害防止外来種リスト」掲載種
のヒメジョオンなど、繁殖力が強い種を実際に確認できました。

秋にワタラセツリフネが群生する草地へは、森の中を抜けて移動します。園路を横切る細長いミスジコウガイビルに、これ何!?と歓声が上がリ、アワフキムシの幼虫の住処から幼虫を取り出し、ハナイカダの果実、取れた脚が再生しかかっているナナフシモドキの幼虫など…森の中ならではの出会いもありました。

ナナフシモドキ幼虫
中脚は再生途中!

かつて里山には、茅葺屋根の材料にするススキなど茅を調達する草原があり、こんぶくろ池周辺には、古くから馬を育てる牧がありました。草原は生物多様性を育む場となっていますが近年減少傾向にあるそうです。当園では、夏にノジトラノオが群生するエリアと、秋にワタラセツリフネソウが群生するエリア2か所を草地として維持しています。冬場にいっせいに草刈りを行うと、ノジトラノオのエリアでは春にスマレ、夏にはノジトラノオやクララ、秋にはヤマハギ、ヒヨドリバナが次々に開花し、ワタラセツリフネソウのエリアでは春にアマナやマムシグサ、秋にはワタラセツリフネソウなどが開花し、様々な昆虫にも出会えます。

ワタラセツリフネソウのエリアでは、イヌキクイモと、「生態系被害外来種リスト」掲載種 of セイタカアワダチソウが、ワタラセツリフネソウの開花時期に黄色い花をつけます。これらは、背が高く、ワタラセツリフネソウなど背が低い植物への光が届きにくくなります。草地では、さまざまな植物が物理的に支え合い強風などでも倒れにくくなっている側面もあります。2月頃から芽生え成長し根を張ったワタラセツリフネソウに配慮しながら、セイタカアワダチソウ、イヌキクイモ、成長著しいアズマネザサなどを、注意深く抜いたり、カットしたりの作業を参加者の皆様にも行っていただきました。作業後は、ノジトラノオが咲く草地や弁天池方面を散策。



ワタラセツリフネソウ草地での作業

参加の方々からは、様々な生き物も見ることができて楽しかったとお言葉。こちらこそ、大変な作業を行っていただいたことに感謝申し上げます。保全活動の成果を見に、こんぶくろ池自然博物公園に足を運んでいただくと幸いです。

今回は、これまでになかった試みで準備不足が反省点として残りましたが、駆除対象種の再確認をする機会にもなりました。里山班と調査班が会する合同活動日は、引き続き、作業後のお茶の時間も楽しみの一つです。

(写真：徳永さと子)

ノジトラノオ
環境省レッドリスト:絶滅危惧Ⅱ類(VU)

柏市内小学校3年生の校外学習による来園報告

中川 望

昨年のおんぶくろ池通信 11月号にてお伝えしておりますが、柏市では、おんぶくろ池自然博物公園（以下「当園」とします）を小中学校や地域住民の「環境教育の場」と位置付けており、当NPOも事業目的の一つとして、「自然環境の大切さ等を理解出来る環境教育などの啓発活動」を掲げ、柏市と協働し、種々のイベント開催等を通じて「環境教育の場」としての当園の活用を呼びかけ続けてきています。

これらの諸取り組みの結果、柏市内小学校のうち毎年数校が、5～6月頃に実施する小学3年生の校外学習の訪問先の一つに当園を選択なさっています。因みに2017年（H29）以降の来園校数は下記のとおり増加傾向にあり、今年は過去最多となりました。

年度	来園校数 (*1)	来園者数	小学校名	備考
2017 (H29)	4	476	十余二・柏第五・酒井根・旭	
2018 (H30)	4	410	十余二・西原・酒井根・柏第四	
2019 (H31&R1)	5	469	柏第五・酒井根・旭東・土・柏第四	
2020 (R2)	2	246	柏第一・十余二	コロナ禍のため来園校数減少。
2021 (R3)	7	575	十余二・松葉第一(*2)・土・柏第四・旭東・松葉第二・柏第六	(*2)コロナ禍のため校外学習中止となった。
2022 (R4)	8	890	十余二・柏第四・増尾西・松葉第一・土・柏第六・柏第五・柏第三 (*3)	(*3)炎暑による熱中症発症防止のため当園来園を中止。

(*1) 申込後に校外学習や当園来園が中止になったケースも含めています。

当園内の見学時間は各校で異なりますが、概ね30～60分程度であり、当NPOメンバーがガイドを担当しています。見学した児童および引率の先生方の感想は好意的なものが多く、「近くにこんなに自然が残っているところがあるとは知らなかった」とか、「今度は家族で来る」という声を多く聞くことができました。



さて、今年の校外学習が始まった5月から6月中旬にかけては、雨天や曇りの日が多く気を揉んでおりましたが、7校目（6月17日実施）までは雨に降られることもなく、予定通りに当園内の自然を満喫していただけました。ところが、27日の梅雨明け後は猛暑日の連続となり、8校目の柏第三小学校は、“熱中症発症の危険性が高まった”と判断され、29日実施予定であった当園見学を中止なされました。担当の先生は「児童たちが乗車の大型バスを当園には駐車できる場所がなく、柏の葉公園駐車場に駐車せざるを得ない。ここから当園までは徒歩で片道約20分かかるが、児童たちを炎天下約20分間（往復では約40分間）歩かせるのは無理と判断した。当

園内または近くに大型バスが駐車できる場所があれば問題なく当園見学させてもらえるのだが・・・」と非常に残念がっておられました。

柏市には再三再四お願いし続けていますが、当園内または付近への大型バスを駐車できる場所の確保を一日も早く実現してほしいものです。

6 月理事会

(日時) 2022 年 6 月 25 日 (土) 13:00~15:30

(出席者) 岡本、上田、中川、藤原、徳永、萩原

1. 審議検討・確認事項

(1) 定款の変更手続きの進捗状況について

- ① 千葉県認証取得 (6/13 付認証書受領済)
- ② 千葉地方法務局での定款変更登記 (登記完了予定日 7/5)
- ③ 定款変更登記完了提出書等の千葉県への提出 (7/6 以降)

(2) 公園緑地課への提言および質問について

- ・ 6/28 (火) に公園緑地課長との打合せを実施予定である旨の報告がなされた。

(3) T-KIDS 及び柏の葉 T-SITE とのイベントの準備状況について

T-KIDS で打ち合わせを行い、準備を進めている。

【イベント】

- ・ 7/24 (日) 夜の昆虫観察会：公園内でライトトラップ、糖蜜トラップ等を予定。定員を 10 名に増員したが、既に満席。
- ・ 8/14 (日) 森の昆虫博士養成講座：T-SITE 内、10:00~、11:30~ (1 回 40~45 分程度)、定員各回 10 名。講師：徳永、小川

【昆虫標本の展示】

日時：8/13 (土) & 14 (日) 9:00~20:00

場所：T-SITE 2 階階段横スペース

(4) 6/19 (日) 合同活動日実施の近隣住民参加イベントの振り返り

- ・ 詳細について準備不足であった。
- ・ 今後、同様のイベント検討を行う際には、実施内容・時期・外部団体との共催等について十分な検討を行う必要がある。
- ・ (別件ではあるが) 今年度も活動体験会を実施予定であり、対象は高校生以上とする。

(5) 外来植物の駆除と処理方法 (案) について

- ・ 当園に生育する生態系被害外来種リスト掲載種等、再確認し、会員内での情報共有を検討する。

(6) 管理規定 (仮称) の設定について

- ・ 当園の保全関連資料は、部門ごとに保存されている。体系的な保存を、今後、検討する。

(7) 樹木図鑑の購入について

- ・ 樹木に関する図鑑および、昆虫に関する図鑑等を購入し、

管理棟の本棚に加える。

(8) ノリウツギの試験植栽の実施について

- ・ 園内に1本が生育しているノリウツギ（千葉県最重要保護生物（A））の挿し木により、複数の株が順調に育ってきた。林縁など明るい場所を好む種。園内の適所で試験植栽を実施する。

(9) 7～8月活動計画

- ・ 気温が上昇し体力の消耗が大きくなる季節につき、適宜、活動時間は短く切り上げる等の対応を行う。
- ・ 園内の銘板の劣化等が見られる。今後、確認やメンテナンス等の作業を少しずつ行っていく。

2. 報告事項

(1) 調査

- ① 東大 久保田先生トラップ調査補助（1回目：6/17&18）

(2) 園内ガイド

- ① 柏第四小学校（105名）（5/31 13:10～14:10）
- ② 増尾西小学校（97名）（6/1 10:00～11:00）
- ③ 松葉第一小学校（106名）（6/3 13:10～14:10）
- ④ 土小学校（36名）（6/9 9:20～10:20）
- ⑤ 柏第六小学校（88名）（6/10 14:00～15:00）
- ⑥ 生涯大学歩こう会（約50名）（6/11 11:00～11:40）
- ⑦ 柏第五小学校（142名）（6/17 1G：9:00～9:45 2G：10:20～11:05）

(3) その他

森林総研によるカシナガ調査用トラップ回収立会（6/21 14:00頃）

- ・ 回収されたデータは、複数の地点で同様に行われた調査結果と共に、カシナガの初発日等についての研究に使用される旨の説明があった。

理事会の議事録は管理棟のファイルにて確認できます。